



古高だより

自主自立 敬愛和協 明朗端正 勤勉誠実

鹿児島県立古仁屋高等学校
〒894-1508
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 399 番地 1
[TEL]0997-72-0034 [FAX]0997-72-0057
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/koniya/

避難訓練(地震)

7月16日(木)4限目、地震発生を想定した避難訓練を行いました。今回は抜き打ちで行ったため、より緊張感のある訓練になりました。体育館に避難した後、津波に関するDVDを視聴し、防災に関する意識を高めました。



生徒会役員決定

7月9日(木)の生徒会役員選挙の結果により、生徒会役員が決まりました。終業式では、重吉校長より旧生徒会役員には感謝状が、新生徒会役員には任命書が授与されました。

生徒会長
濱田 玲織 さん
生徒会副会長
宮山 寛大 さん
志摩 那波 さん
書記
川畑 愛花 さん
朝 美琴 さん
会計
栄 丈太郎 さん



クラスマッチ

7月17日(金)に、1学期のクラスマッチを行いました。当日は、あいにくの雨で、男女共にバレーボールで勝敗を競いました。それぞれ総当たりで行い、男子は3勝1敗で2年1組が優勝。女子は、3戦全勝で3年1組が優勝しました。競技を通して、クラスの絆を深めました。



旧生徒会長
渡 百花さんの言葉
「皆さんの御協力のおかげで、生徒会役員一同充実した一年を過ごすことができました。今年は、創立90周年という節目の年です。新生徒会を中心に、益々古仁屋高校を盛り上げていってほしいです。」

新生徒会長
濱田 玲織 さんの言葉
「このような役職に就くことは初めの経験ですが、新しい視点からどんな意見を取り入れて古仁屋高校をより良くしていきたいと思えます。新生徒会をよろしくおねがいします。」



創立90周年記念「郷土の高校！古仁屋高校のあゆみ」第3号

鹿児島県古仁屋高等女学校の時代(昭和14(1939)年~昭和18(1943)年)

昭和18(1943)年3月に、鹿児島県古仁屋実科高等女学校から校名を変更し、鹿児島県古仁屋高等女学校となりました。当時の生徒の手記には家事や裁縫のほかに公民・数学・生物・国語・漢文などの教科/科目についての記述があり、校名変更により家政に関する教科を中心とした実科高等女学校から、幅広く学ぶ学校へ変化していったことが分かります。戦時であることを反映して(軍事)教練を行い、モールス(信号)、手旗(信号)などについても学んでいました。

また、昭和19(1944)年になると戦況の悪化に伴い、第1回卒業生は3月に卒業すると、北九州の軍需工場へ挺身隊員として動員され、そこでなくなった方も多そうです。在校生も奉仕作業で勉強どころではなく、塹壕掘り(須手)、芋植え(瀬久井)、奄美大島陸軍病院(現:古仁屋中学校)の手伝い、遺骨を骨箱に収める作業、戦死公報のガリ版刷り、発送などに従事していたそうです。(教頭 吉井秀一郎)

<参考・引用文献> 創立50周年記念誌(1981年 鹿児島県立古仁屋高等学校創立五十周年記念事業実行委員会)

瀬戸内町誌 歴史編(2007年 瀬戸内町誌歴史編集委員会)

卒業後すぐ軍需工場で働く挺身隊として小倉へ出発されました。



古仁屋高等女学校 第1回卒業記念(昭和19年3月)